



進んだC型肝炎治療

副院長 河合 勉

ウイルス性肝炎は、B型・C型肝炎ウイルスによる感染症で、長年かかって慢性肝炎、肝硬変になることが多い病気です。また肝臓癌を合併する確率が高い病気です。

B型慢性肝炎は、感染していない人に比べ約400倍、C型慢性肝炎は約1,000倍、肝硬変になると約5,000倍、肝臓癌になりやすいと言われています。

C型肝炎は、過去の輸血、非加熱製剤の投与など、感染の原因がわかっている方は全体の40%程度に過ぎません。C型肝炎はALT（GPT）が正常範囲内で推移することが多く、その場合は症状もありません。

C型肝炎の感染の原因がわかっていない残りの60%の方は、過去に医療行為などで滅菌不十分な注射器を使用し血管注射をしたことなどが考えられます。

現在蒲原病院では、肝炎の無料検査を行っています。40歳以上の方で今までにウイルス肝炎の検査をしていない方はぜひ受診してください。



旧庵原郡を含め富士川流域は、全国でも有数なC型肝炎、肝臓癌の多発地域です。

平成元年にC型肝炎ウイルスは発見され、以後インターフェロンを中心とした治療が始まりました。

日本人が感染しているC型肝炎ウイルスは、その遺伝子により1型と2型に分かれます。

1型は難治性で、当初、C型肝炎ウイルスは数%しか排除できませんでした。しかし、その後、C型肝炎の治療は急速に進歩しました。

昨年秋に新しいC型肝炎の治療薬が発売されました。従来のペグインターフェロン（週1回の注射）とリバビリン（連日内服）の併用に新たにシメプレビルを内服する治療法です。

上記の3剤を12週投与し、その後ペグインターフェロン+リバビリンのみを行う治療で、通常24週で終了です。通常1型で高ウイルス量の場合、ペグインターフェロン+リバビリン治療は48~72週必要でしたので、かなり短期間で治療が済みます。

注目すべきは、ウイルスのタイプが1型の初回治療の成績（ウイルスを排除する）が90%前後で、驚くべき効果があるという事です。従来のペグインターフェロン+リバビリン治療では48~72週投与しても50%前後でした。また高齢者にも効果があり、75歳前後まで適応範囲が広がっています。若干副作用はありますが、テラプレビル（2年前に発売された治療薬）に比べればはるかに少なく、特に重篤な副作用が少ない事がポイントです。なお、治療費については肝炎医療費助成制度の対象となっています。（詳しくは保健所へお問い合わせください）

また、ウイルス排除を目的とした上記治療の導入が困難な患者様にも、インターフェロンを少量、隔週投与することにより肝炎への進行を遅らせ、また肝臓癌の発現を低くすることができます。

お問い合わせは、**地域医療支援室【電話：0545-81-5577（内線：2033）】**までどうぞ。



認定看護師紹介



「がん化学療法看護認定看護師」の資格を取得しました松永光代です

認定看護師とは、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護を実践し、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかります。

現在、認定看護師の看護分野は21分野あり、当院では感染管理、救急看護、皮膚排泄ケア、がん化学療法看護の4分野の認定看護師が勤務しております。

がんは日本人の死因の第1位で、生涯のうちにがんにかかる可能性は男性の2人に1人、女性の3人に1人と推測されています。がん治療には、手術療法、放射線療法、化学療法などがあります。



その中で、私が取得したがん化学療法看護認定看護師の役割は、がん化学療法（抗がん剤治療）を受ける患者様が、安全かつ安心して治療が受けられるようにサポートすることです。治療中に患者様がリラックスした環境のもとで安心して治療を受けられ、副作用症状が軽減でき、自宅でのセルフケアを実践できるように援助していきます。またチーム医療として医師、薬剤師と連携し、患者様が自分らしく生活できるよう支えていきたいと思っています。

「皮膚・排泄ケア認定看護師（WOC）」の資格を取得しました久保美咲です

WOCとはWound Ostomy Continencの頭文字です。W:創傷（床ずれや手術の傷など）O:ストーマ（人工肛門や人工膀胱）C:失禁（便や尿が漏れる）などの方を対象に専門的なケアを提供する看護師のことを言います。この「創傷」「ストーマ」「失禁」の3つはあまり関係なさそうに見えますが、全てスキンケアにつながっています。皮膚が正常な状態でいられるような環境づくりが私の仕事だと思っています。

現在、褥瘡（床ずれ）専従看護師として働いております。その中でも褥瘡発生予防として環境の整備・予防教育に力を入れております。また人工肛門造設者に対し、退院後の生活が快適に過ごせるよう先を見越したサポートをしていきます。



失禁による皮膚障害が発生した際は、適切なおむつ使用方法や清潔ケアについてアドバイスさせていただいております。医師・看護師・薬剤師・栄養士・その他の医療従事者と横断的な関わりをし、ケアを必要とされている患者様及びご家族の方へより良いケアの提供ができるよう努力していきたいと考えております。

院内外問わず活動していきますので、お気軽にお声かけ下さい。よろしくお願いいたします。

新 3 病棟 紹介

当病棟は、消化器内科・一般内科・皮膚科で構成する 37 床の病棟です。

医師 4 名、看護師 28 名、看護助手 3 名、病棟医事係 1 名で勤務しています。

勤務体制は 2 交代制で夜勤者は 3 名で勤務しています。急性期・慢性期・検査入院の患者様を 2 チームに分かれ目標を持って看護に取り組んでいます。



Aチーム 目標

- ・受け持ち看護師が中心となり患者家族の思いを知り患者様中心の看護を行う。
- ・心にゆとりができ、優しい気持ちで患者様に安全な看護を提供できる。

Bチーム 目標

- ・患者様・ご家族に対し、より良い看護が提供できるよう、話し合いを見直し、定着させる。
- ・笑顔があふれ、患者やスタッフを思いやることのできるチームを作る。



ボーリング大会で親睦を深めました！！



診 療 日 程 表

【外来診療担当表】 平成26年4月1日から

午前外来受付時間 新患・再診 午前7時30分から午前11時15分まで

	月	火	水	木	金
内科	金井 望月 河合 野口①	真鍋 金井 澤田② 望月 榛葉 河合	金井 望月 河合 野口	真鍋 望月 河合 非常勤医師③	真鍋 金井 望月
神経内科④		櫻井	今井		
外科	谷若⑤ 後藤 中島	谷若⑤ 後藤	谷若⑤ 後藤⑥ 上	谷若⑤ 後藤	谷若⑤ 中島 上
整形外科⑦	加藤	加藤	加藤 阪口	阪口	加藤
脳神経外科	木村	木村	西ヶ谷	磯江⑧	西ヶ谷
皮膚科	松田	松田	松田	松田⑨	松田
耳鼻咽喉科⑩	宮本		阿久津		赤澤
婦人科⑪	太田	太田	竹内	太田	太田
小児科	奥田	奥田	奥田	奥田	奥田
眼科⑫	阿部	唐澤⑬		邱(きゅう)⑭	
泌尿器科		大熊		加瀬	
糖尿病・内分泌専門外来			榛葉		

- 内 科 ① 月曜日の野口医師の診療は第1・2・3月曜日の診療となります。
- ② 火曜日の澤田医師(循環器科)の診療は第2・4火曜日の予約診療となります。
- ③ 木曜日非常勤医師は、第1・5木曜日は村田医師(循環器科)、第3木曜日は縄田医師(循環器科)となります。診療開始時刻は午前9時からとなります。
- 神 経 内 科 ④ 診療は毎週火・水曜日の予約診療となり、診療開始時刻は午前9時からとなります。
- 外 科 ⑤ 谷若医師の診療は完全予約診療となります。予約の無い患者様の診療は出来かねますので了承下さい。受診を希望される患者様は、平日午後3時から午後4時30分の間に外科外来へお問い合わせ下さい。
- ⑥ 水曜日の後藤医師の診療は予約診療となります。
- 整 形 外 科 ⑦ 予約診療となります。
- 脳神経外科 ⑧ 第4木曜日は休診となります。
- 皮 膚 科 ⑨ 木曜日は、第1・3・5木曜日の診療となります。
- 耳 鼻 科 ⑩ 診療開始時刻は午前9時からとなります。
- 婦 人 科 ⑪ 診療開始時刻は月・火・木・金曜日が午前8時30分から、水曜日が午前10時からとなります。
- 眼 科 ⑫ 毎週月・火・木曜日の診療となり、診療開始時間は午前9時からとなります。
- ⑬ 4月からの火曜日の診療は、唐澤医師となります。
- ⑭ 木曜日の邱(きゅう)医師の診療は予約診療となります。

午後外来につきましては、お電話にてお問い合わせください。【問い合わせ先】電話 0545-81-2211 (代表)

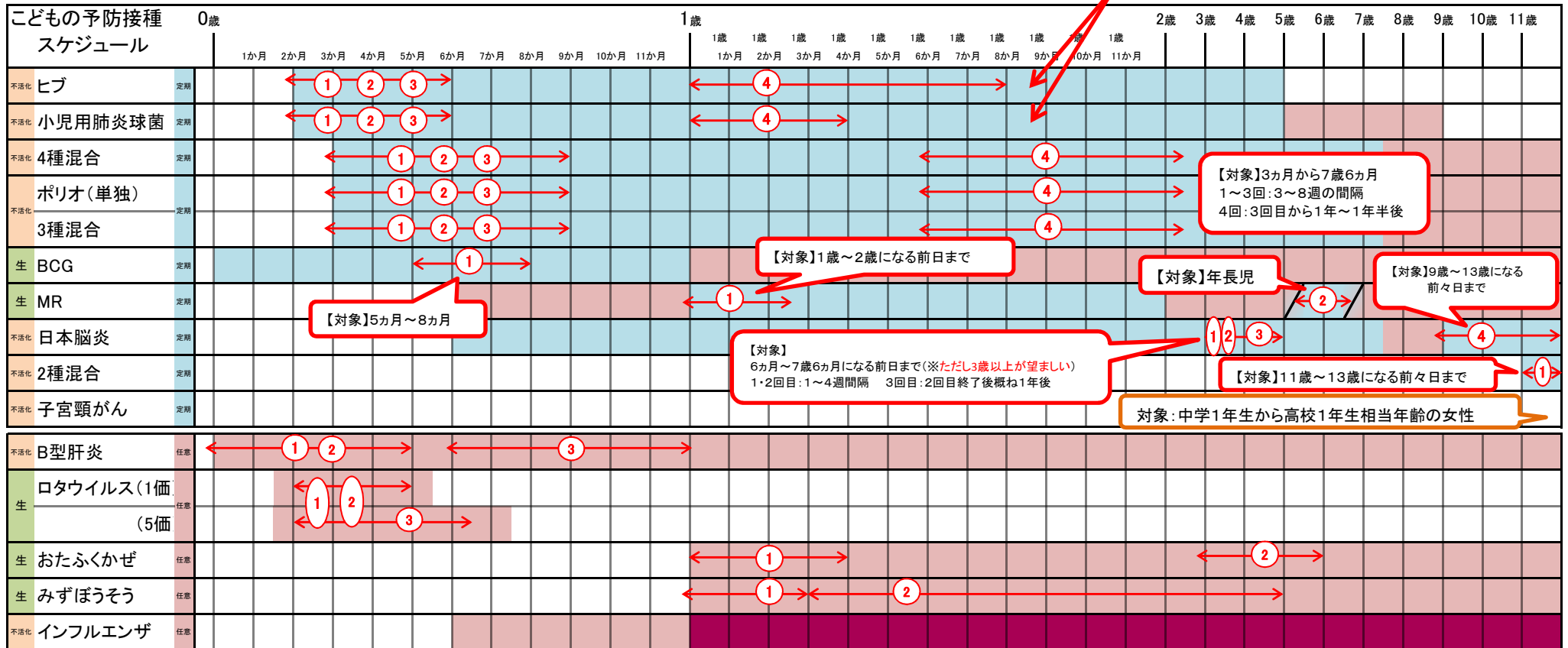
予防接種スケジュール

病気に対する抵抗力が未熟な赤ちゃんやお子さんを守るためには、予防接種が大切です。

いろいろな種類の予防接種がありますが、接種する年齢や回数・間隔は違います。

接種時期を確認しベストなタイミングで接種できるように予防接種スケジュール表をご活用下さい。

【対象】2か月から5歳未満
1～3回: 4～8週の間隔
4回: ヒブは3回目から7か月～13か月後
肺炎球菌は3回目から60日以上かつ1歳過ぎてから



【対象】3か月から7歳6か月
1～3回: 3～8週の間隔
4回: 3回目から1年～1年半後

【対象】1歳～2歳になる前日まで

【対象】年長児

【対象】9歳～13歳になる前々日まで

【対象】5か月～8か月

【対象】6か月～7歳6か月になる前日まで(※ただし3歳以上が望ましい)
1・2回目: 1～4週間隔 3回目: 2回目終了後概ね1年後

【対象】11歳～13歳になる前々日まで

対象: 中学1年生から高校1年生相当年齢の女性

※実際接種するスケジュールは、かかりつけ医と相談しましょう。

- 接種回数およびおおすすめの接種時期
- 定期予防接種の対象年齢
- 任意予防接種の対象年齢
- 任意予防接種(公費助成がある期間)

昨年度入職した新人看護職員に「2年目の決意」を示してもらいました!!

U.S

蒲原病院に入職したばかりの頃は、右も左も分からず何もできなかった私でした。しかし、病棟の先輩方に日々丁寧に温かいご指導をさせていただき、1年間働かせていただくことができました。この1年は、目の前の自分の仕事でいっぱいでしたが、2年目は、チームで働いているという自覚をしっかりと持ち、周りを見て行動できるようにしていきたいです。また、患者様に対する看護の姿勢として、身体的・精神的・社会的側面を把握し、個性を持った看護を行っていききたいと思います。

G.N

昨年4月蒲原病院に入職し本4病棟に配属されて1年が経ちました。入職当初は、技術や知識が未熟で、病棟での業務を覚えていくのが精一杯でしたが、病棟の師長さんをはじめ先輩方に支えていただき、少しずつできることも増え病棟の流れについていくことができるようになったと思います。まだまだ至らない部分も多く、日々勉強しながらの毎日ですが、先輩方の指導を受け、看護師として成長できるように頑張りたいと思います。

M.F

1年目はわからないことばかりで、先輩や患者様、他職種の方など本当にたくさんの方々に支えてもらいながら過ごす日々でした。失敗や反省することも多く、毎日が勉強でした。落ち込むこともたくさんありましたが、患者様やご家族の方に笑顔でありがとうと言ってもらえたり、Mさんでよかったよという言葉を受け、助けられることが多く本当に感謝しています。この1年間で学んだことを活かし、少しずつでも成長していきたいです。

T.M

「学びの語源は、まねび（真似る）」とある本に書いてありました。1年目の私は、これを胸に先輩方から「学び」を得ようと無我夢中でした。しかし、多重課題に遭遇した時慌てるばかりで先輩方のようににはできませんでした。看護師には、冷静な判断と行動が大切です。常に平常心を保ち優先順位を考え行動できるようにしていくこと。そして、知識・技術は昨年同様「学び」を心がけ精一杯取り組んでいきます。

T.A

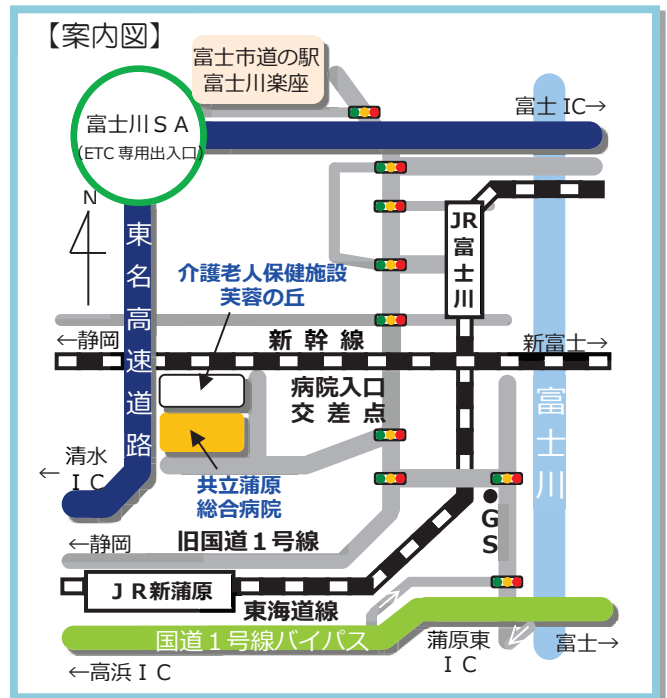
初めは、清拭や体位変換すら自信がなく、患者様と接することにビクビクしていました。徐々にできる技術が増え、患者様に必要なことを考え説明できるようになりました。日々複数名を受け持つ際の優先順位や時間も意識できてきたと思います。自分が一番変わったことは、「発信すること」です。以前は困っても一人で抱え込んでいましたが、それは患者様のためにはならず、先輩とコミュニケーションをとること（報告・相談）が大切だと考えます。先輩方のアドバイスに支えられて、ここまで来られたと感謝しています。まだ課題は多いですが、今後も学んだことを活かしていきたいです。

= 2年目のナースたちへ =

春になると、新館の軒下に巣を作るつばめがいます。そのうち、ひなが生まれ、大きな口をあけて、餌を待ちます。成長した雛鳥が飛べるようになるまで、親鳥は何度も何度も練習させ、やがて飛び立っていきます。

皆さんもまさに今、春の空に飛び立ちました。泣いたり笑ったりしながら1年間の研修を終えたことを誇りに、もっともっと大空高く飛べるように成長してほしいと思います。そんなあなたたちを、私達は全力でサポートします。親鳥のように……。

副看護部長（教育担当） 佐野 紀代



共立蒲原総合病院

〒421-3306 静岡県富士市中之郷2500番地の1
TEL : (0545) 81-2211 FAX : (0545) 81-2208
ホームページ : <http://www.kanbarahp.com>